

関係委員意見聴取書面	
関係委員 (敬称略)	(所属)新潟大学農学部農学科 教授 ----- (氏名)関島 恒夫
聴取日	令和3年2月10日(水)、3月1日(月)、3月24日(水)
聴取者	環境省大臣官房環境影響評価課環境影響審査室 藤井審査官 環境省大臣官房環境影響評価課環境影響審査室 中村審査官
要領4.(2)利害関係者の除外 ----- ・意見聴取しようとする事業に係る利害関係の有無。 利害関係 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
要領4.(3)秘密保持の承諾 ----- ・環境影響評価法手続きに基づき作成される図書に含まれる希少な動植物種の生息・生育地の情報その他の秘匿すべき情報を外部にもらさない旨の承諾。 <input checked="" type="checkbox"/> 承諾 ・ 非承諾	
<関係委員意見概要> -----	
クマタカについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営巣地が複数確認されていることから、Maxent の統計モデルで解析を行った方が有効と思われる。</li> <li>・ 本事業のような複数のクマタカが密に生息する状況においては、営巣場所、行動圏の移動は容易ではない。</li> <li>・ 複数のクマタカが生息しており、各ペアの営巣中心域は重ならないが、採餌場が重なり、行動圏が重なることはありうる。</li> <li>・ 一般的な習性として、繁殖期は最短・最適な場所に営巣地を設けるので、営巣地と採餌域との行き来の中で、その間を分断する構造物が建った時は衝突のリスクが高まる</li> <li>・ 営巣地が確認されていないペアについては、営巣地確認調査を実施してから、風力発電設備の配置を検討する必要がある。</li> <li>・ 類似の工事等のクマタカに関する既存の知見等をもとに、客観的、論理的に営巣・繁殖に係る環境保全措置を検討する必要がある。</li> <li>・ 抱卵時期は非常に敏感であり、事業を慎重に進める必要がある。</li> </ul>